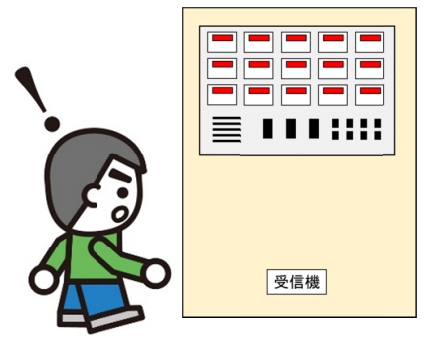
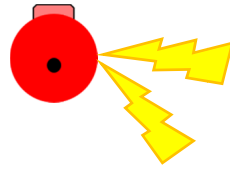


自動火災報知設備が作動したら・・・

①受信機を確認します。

受信機を確認することで、建物のどこで火災が起きているのかがわかります。

警戒区域一覧図と照合し、場所を判断しましょう。



②受信機が指し示す現場を確認します。

現場確認の際は、消火器や通話装置、マスターキーなどを携行します。



③火災が発生していた場合、自衛消防活動を実施します！

消火器等による消火活動、119番通報、避難誘導などの自衛消防活動を実施します。

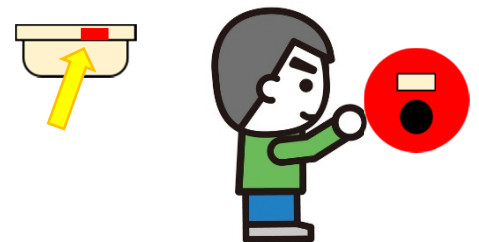


④火災ではなかった場合、ベルを止め、ベルが鳴った原因を調査します。

作動した感知器にはランプが点灯しています。

発信機のボタンが押されている場合は元の状態に戻します。

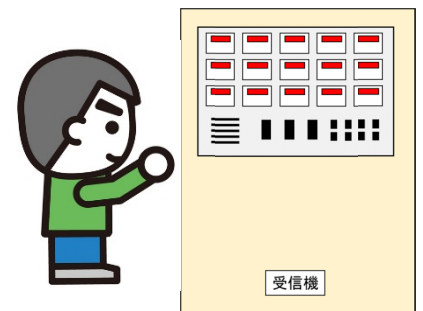
※消防署への通報装置が作動している場合は、火災ではなかったことを連絡します。



⑤受信機を復旧し、警戒態勢に戻します。

受信機の復旧ボタンを操作し、停止していたベルの音も元に戻して、警戒態勢に戻します。

スイッチの位置が平常時と異なる場合は、「スイッチ注意灯」が点滅するため、注意してください。



※詳しくは「自動火災報知設備の取り扱いについて」を確認してください。